

平成31年2月 木更津市定例教育委員会会議 会議録

1. 日 時 平成31年2月15日(金) 午後1時00分～午後1時50分
2. 場 所 木更津市役所朝日庁舎 会議室F
3. 出席者 教育長及び委員

教育長 高澤 茂夫
委員 武井 紀夫
委員 吉田 一雄
委員 渡部 佳子
委員 豊田 雅之

職員

教育部長	岩埜 伸二
教育部次長兼教育総務課長	秋元 淳
教育部参事兼施設課長	勝畑 成一
教育部参事兼学校教育課長	河野 勝
教育部参事兼文化課長	稲木 章宏
教育部参事兼図書館長	渡邊 雅夫
教育部参事兼中央公民館長	石井 一彦
学校給食課長	真戸原裕二
生涯学習課長	野口 琢郎
まなび支援センター所長	岡崎 由子
学校給食センター所長	地曳 俊雄
郷土博物館金のすず副館長	稲葉 昭智
学校再編課主幹	内海 雅彦
(会議事務局)	
教育総務課主幹	長谷川光敏
教育総務課主事	萩原奈央子

4. 傍聴人数 0名(非公開議案0件)

5. 議 案

議案第6号 第2期木更津市教育振興基本計画(案)の策定について

6. 報告事項 なし

7. 議事大要

○高澤教育長

定刻となりましたので、平成31年2月定例教育委員会会議を開催いたします。

会議録の署名人には、吉田委員にお願いいたします。また、前回、1月定例会議の会議録につきましては、武井委員と私で、1月臨時会議の会議録につきましては、渡部委員と私で、それぞれ確認、署名いたしました。

それでは、議案の審議に入ります。

はじめに、議案第6号「第2期木更津市教育振興基本計画(案)の策定について」を議

題に供します。事務局から提案理由の説明をお願いいたします。

○秋元教育部次長

議案第6号「第2期木更津市教育振興基本計画（案）の策定について」ご説明申し上げます。

議案資料2ページをご覧ください。本議案は、平成27年3月に策定した木更津市教育振興基本計画について、今年度末となる平成31年3月に計画期間が終了となることから、新たに2019年4月から2022年3月までの4ヵ年を計画期間とする第2期教育振興基本計画を策定することについて、木更津市教育委員会組織及び運営規則第5条第1号の規定により、議決を求めるものでございます。

別冊「第2期木更津市教育振興基本計画（案）」をご覧ください。本計画につきましては、平成30年11月定例教育委員会会議にて素案をお示しし、意見等をいただいたものでございます。その後、12月市議会定例会の教育民生常任委員会協議会での説明を経て、パブリックコメントを、12月25日から1月24日までの期間で行いましたところ、意見等は特になしでした。

本結果を受けまして、計画の趣旨等への同意はいただいたものと考えておりますが、木更津市第2次基本計画、第2次教育大綱等との整合性を図っていた中、一部文面への説明等が不十分だったと思われる点がございましたため、そちらに関しては別途注釈を追加し、分かりやすくする等、若干の修正を行いました。今後のスケジュールについてですが、本日、改めて委員皆様の審議をいただいた後、3月市議会定例会での最終説明を経て計画として公表させていただきます。

説明は以上でございます。

○高澤教育長

ただいま、事務局から説明がありました。

この件につきまして、ご質問はございますでしょうか。

<意見なし>

ご質問がなければ、ご意見はございますでしょうか。

○吉田委員

前段におきまして、Society5.0 の話題がクローズアップされております。一方で、そのために具体的に木更津市でどのようなことを行っていくのか、という視点がありませんように見受けられました。2030年以降を見据えておりますので、本計画の計画期間が4ヵ年であることを考えますと次回以降の計画において検討すべき内容かとも思いますが、現在の中学3年生が2030年には25歳前後、AIが人間を超えているのが2045年であり、丁度その頃が働き盛りの世代となります。もちろん大きな問題ですので、市のみで対応できるのかと言ったこともございますが、現在、コンピューターの進歩に人間が追いついていないような状態もございますので、これからの世代がしっかりと社会に出られるような方策を今後、考えていく必要があるのかと考えております。

○高澤教育長

ご意見ありがとうございます。本件については今後の課題となってくると思っておりますの

で、さらに次の計画への反映等、改めて検討していきたいと考えております。

ほかにご意見がなければ、採決に移ります。議案第6号「第2期木更津市教育振興基本計画（案）の策定について」につきまして、原案どおり賛成の方、挙手をお願いいたします。

＜挙手全員＞

賛成全員で原案どおり決定いたしました。

以上で、本日予定しておりました議案の審議を終了いたします。

続きまして、報告事項でございますが、今月の報告案件はございません。

続きまして、その他の事項につきまして、説明をお願いいたします。

【その他、事務局連絡・報告事項】

- ・2020年木更津市成人式実施方針（案）について

説明：野口生涯学習課長

- ・陸上自衛隊東部方面音楽隊スプリングコンサートのご案内

説明：稲木教育部参事兼文化課長

- ・木更津市立小中学校空調整備事業にかかる進捗状況について

説明：勝畑教育部参事兼施設課長

- ・平成31年度組織改正について

説明：秋元教育部次長

○高澤教育長

その他、委員からご意見等ございますか。

○渡部委員

先日、サカサマ学級と平成30年度木更津市公民館実践交流集会「子どもたちは地域で育つ」にそれぞれ参加させていただきました。学校の役割と公民館の役割、それぞれがやはり大事なのだなとも感じました。学校はやはり教科書がありそれを学ばなければならない、一方で公民館は教科書がない、そういった中で子どもたちの言葉で印象に残ったものとして「自分たちで決めるのは大変だけれども楽しい」といった発言がありました。公民館でしかできない事業があり、色々な制約等もある中大変だとは思いますが、学校では分かりづらい子どもたちの一面を公民館が引き出せるといった発言にも納得した次第です。そういった色々な教育の場がもっと広がると良いのではと思ったのがまず1点です。

それから、地域の人から「子どもたちが外で遊んでいる姿を見ない」という発言が多かったのですが、しかしながらそういった環境を準備しようとするのはとても難しいと感じています。安全面を筆頭に色々な懸念や制約があり、そういう場を作ろうと考えると単純に子どもだけの問題ではなく、その地域の大人たちが元気な人でないと大変なのだろうと思いました。

結論が出ていることでもなく、あまりまとまりまっではありませんが、2つのイベントに参加させていただき、今申し上げたような、色々なことを考えられるいい機会になっ

たと感じています。

○石井教育部参事兼中央公民館長

公民館実践交流集会については3月に報告書が出来上がりますので、また改めて委員皆様にお配りする予定でございます。先ほど委員がおっしゃったように、子どもは色々なことを教えられる存在でもありますが、一方で一人の人間として地域を作っていく一員とした捉え方もしながら成長を促していくといった点が公民館の大きな特徴であると考えております。サカサマ学級、通学合宿、放課後子ども教室等、今後ともそういった部分を大切に、子どもの意見も大事にしながら事業を進めてまいりたいと考えております。

○秋元教育部次長

先日のイベントのポイントといたしましては「子どもたちは地域で育つ」であり、「育てる」ではないところだと個人的には感じております。社会教育に携わっている中で、子どもを成長させるのではなく、子どもが成長していくに当たって周りの大人がどう関わられるか、サポートできるかといったことが大事だと考えております。

また、生涯学習という言葉が一般化する中で、どうしても趣味・教養といった個人的なものに走りすぎているといった懸念がございます。民間が行う生涯学習と公的機関が行う生涯学習は違って当然で、特に公的機関においては人の集まりが多くないような分野、一例を挙げれば人権問題といった部分においても粘り強く続けていく必要性があると感じております。そういった点をもう一度見直していけるよう、今後検討したいと考えております。

○岩埜教育部長

こういったイベントを見ると感じるのですが、公民館職員以外にも地域の方のボランティア等、多くの方の助けをいただきながらイベントが成立しているのだと思います。そういった地域性を見られることが特に木更津市においては大きいのかと感じており、改めて今回のイベントにて再認識いたしました。

○高澤教育長

ほかになれば、その他を終了いたします。

それでは、事務局から次回の教育委員会会議につきまして、連絡をお願いいたします。

○事務局

次回、3月の定例教育委員会会議につきましては、3月22日（金）午後1時から、市役所朝日庁舎会議室Fで開催いたしますのでよろしくお願いいたします。

○高澤教育長

以上をもちまして、平成31年2月定例教育委員会会議を終了いたします。

会議録署名人 教 育 長

委 員